

■なぜ授業改善、高度化に I C T、タブレットが活かせるのか？

【背景】

- ・「知識・理解」は伝統的な繰り返し演習他、一斉指導や紙による教授法でも、豊富に向上が手法が揃ってきている。
- ・「興味・関心・意欲」についても、発問の工夫、本物（具体物）をみせるなど、従来の手法の中で確立しつつある。
- ・思考・判断・表現の向上手法は、これまでの「一斉学習」の形態の中では、確立しにくかった。

■なぜ授業改善、高度化に I C T、タブレットが活かせるのか？

【仮説】

- ① 学習者用PC（タブレット等）があることで、従来1/3しか挙手しなかったクラスの児童生徒の大半を、個別学習、協調学習形態によって巻き込みやすくできるのではないかと。【量】
- ② 多様な回答の比較、話し合いの場の設定を、限られた時間、空間において実現しやすくなり、児童生徒一人ひとりの思考の練り上げに役に立つのではないかと【質】
- ③個別学習がしやすくなりクラス内の学力2極化へ対応しやすくなるのではないかと

2014/10/20 および11/28に久世先生から伺ったお話しをもとに大胆に解釈、付加、要約して作成してみました。
(間違い、不足の点、ぜひご指摘願います)

(参考) なぜこれからは、ICT、タブレットが重要なのか？

校内研修時に、受講者から校内研修リーダーが質問された場合の回答例として

■ 学内環境 【5つのメリットがあるから】

- ①【先生にとって】指導方法の選択肢(引出し)が増える
- ②【子供にとって】自分の認知スタイルに合った学び方を得られやすい。
- ③【先生にとって】子供の学習スタイルを把握しやすくなる
- ④【先生にとって】保護者との良好なリレーションを形成しやすくなる
(↑先生が③で得た子供の的確な学習スタイル情報を提供し感謝されることで)
- ⑤【学校にとって】デジタル化され知識が蓄積される

(参考) なぜこれからは、ICT、タブレットが重要なのか？

■ 社会環境

- ・ 少子化に伴う人口の減少
- ・ 社会の成熟化、ニーズの変化・多様化
- ・ グローバル化の進展、新興国の成長
- ・ 知識基盤社会の進展(知識・情報量の増加、細分化・専門化)
- ・ 環境問題への対応 等

第48回科学技術・学術審議会（平成26年10月31日）より抜粋

今ある職業が、20年後にはなくなるかもしれない。
今、準備しようにもゴールが変わるので難しい。
「確かな知識」を「どう有効活用」するかが求められている。

■ ICT機器を活用する理由

先生が普段の授業で改善したいと思っていることは何ですか？

なぜ授業にICT機器を活用するのでしょうか？

学力の2極化の解消

生徒全員に授業に積極的に関われるようにしたい

普段あまり意見を言わない生徒たちの意見を引き出したい

子どもたちにこれからの社会で生き抜く力を身につけさせたい

子どもたちに自律的に学ばせたい

学習の高度化の実現

■ 学力の二極化の解消と学習の高度化の実現

- 学力および学習意欲の二極化

学力の高い児童や生徒⇔学力の低い児童や生徒

授業に積極的に参加する児童や生徒⇔受身的に参加する児童や生徒



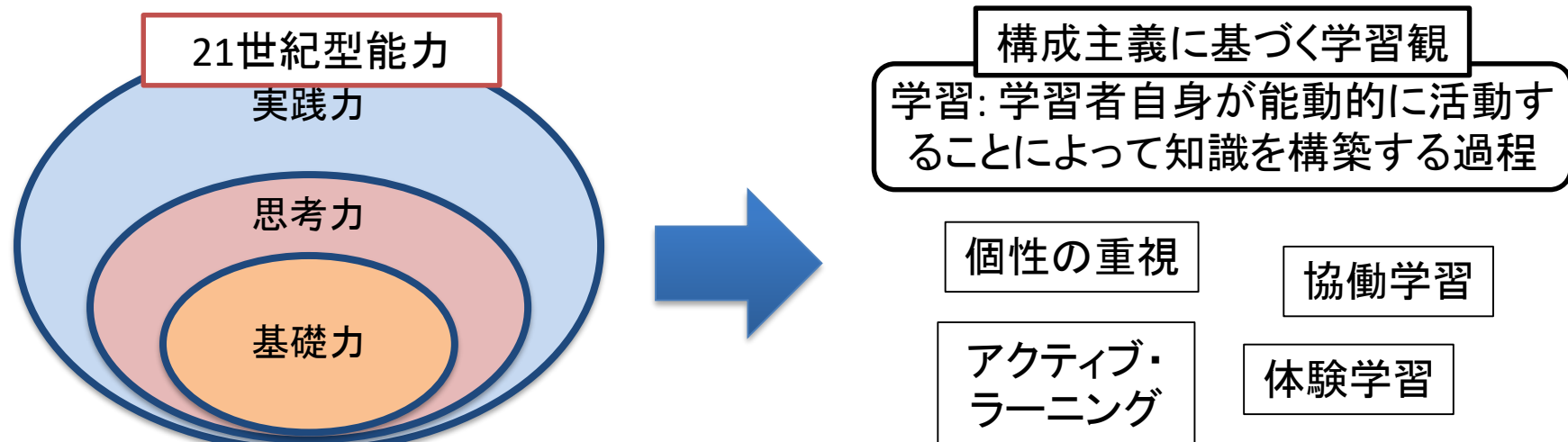
下位層の児童や生徒の学力向上

上位層の児童や生徒のさらなる向上

- 学習の高度化の実現

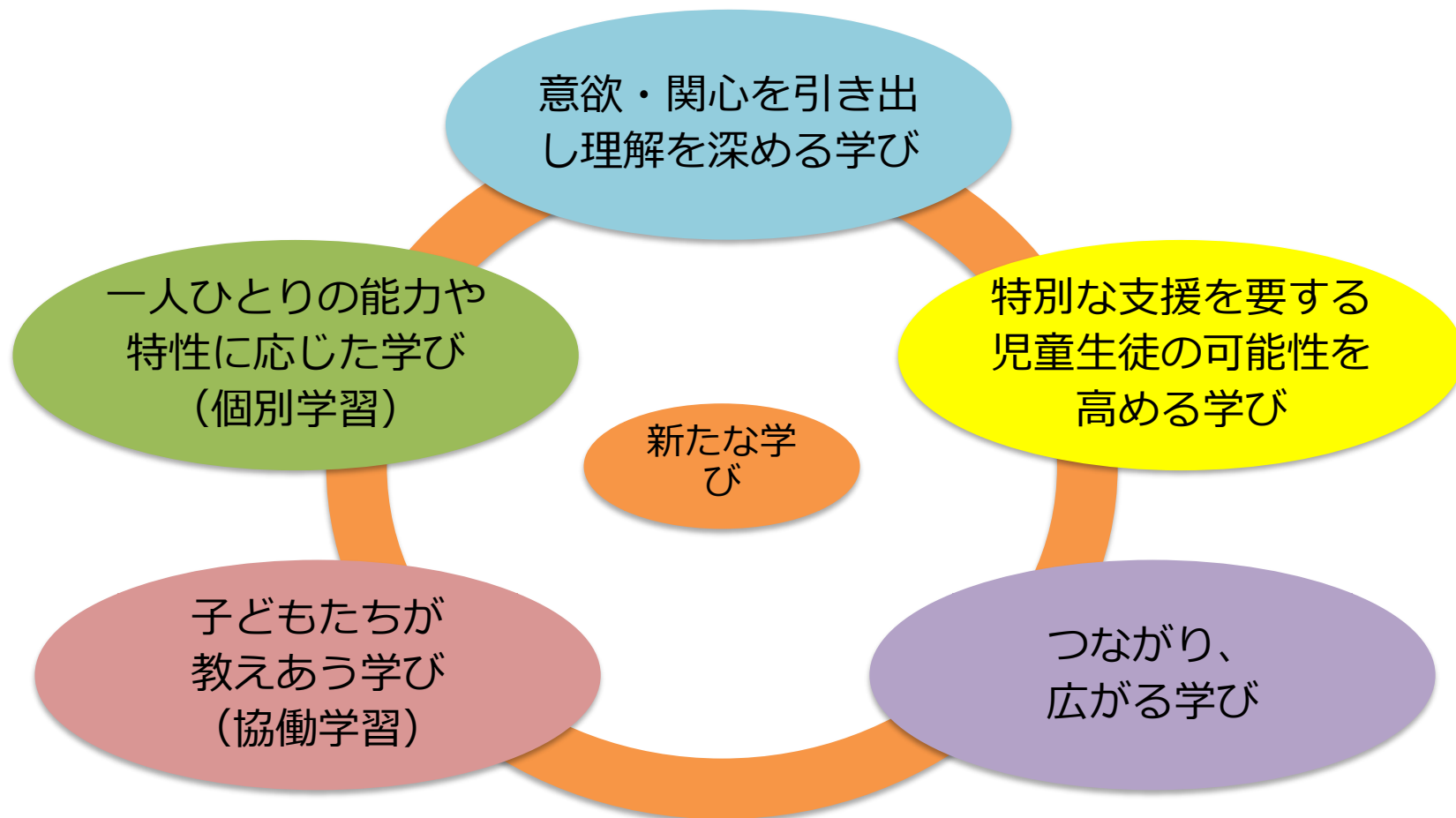
社会や職業の在り方そのものが大きく変化する可能性

児童生徒にどのような資質・能力を身につけさせるか



■ ICTが実現する新たな学び

- 学びのイノベーション事業（平成23～25年度）
ICTを効果的に活用して子どもたちが主体的に学習する「新たな学び」を創造する実証研究を実施



■ ICTが実現する新たな学び

- 学びのイノベーション事業(平成23~25年度)
ICTを効果的に活用して子どもたちが主体的に学習する「新たな学び」を創造する実証研究を実施

情報通信技術(ICT)が実現する新たな学び

学習への関心・意欲を高める学び

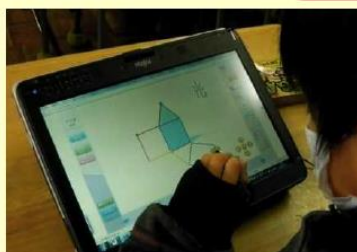


画像を拡大したり書きこみながら分かりやすく説明し、学習意欲を高める



学習内容のイメージを深める動画を視聴し、授業への関心を高める

一人一人の能力や特性に応じた学び(個別学習)



画面上で図形を拡大・回転しながら、各自で思考を深める



デジタル教科書を使った英単語の発音練習により個々に学習を進める

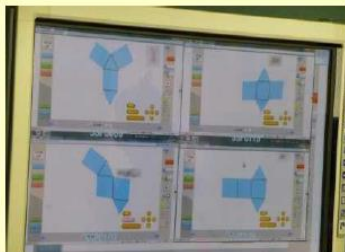


取材内容を写真と文章でまとめ、情報収集力と表現力を高める

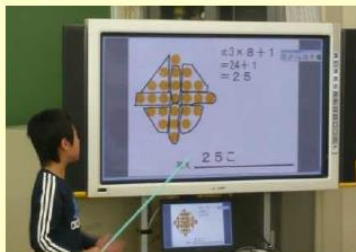
子供たちが教え合う学び(協働学習)



図形を画面上で拡大・回転させながら話し合い、互いに考えを深め合う



各自の考えを電子黒板に転送し、多様な考えを一瞬で共有できる



各自の考えを発表し、話し合うことで学習内容への理解を深める

つながり、広がる学び



遠隔地の企業との交流授業により、学習内容への理解とコミュニケーション能力を高める

特別な支援を要する子供の可能性を高める学び



個々の障害の状態に応じた学習(タブレットPCを用いた文字のなぞり書き)